発生直後命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- すばやく火の始末をする。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

揺れが収まった後

- 家族の安全を確認する。
- 靴を履く。
- 必需品を手元に用意する。
- 余震に注意する。
- ガスの元栓を閉める。

5～10分後

- 隣近所の安全を確保する。
- ラジオなどで情報を確認する。
- 電話はなるべく使わない。
- 電気のブレーカーを切る。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。

10分後～数時間後

- 協力して消火・救助活動をおこなう。
- 生活必需品は避難時持っていく。
- 災害情報、被害情報を収集する。
- 壊れた家には入らない。
- 余震に注意する。
- 避難場所・避難所に避難をする。

想定震度　凡例

計算対象外
震度 5 強
震度 6 弱
震度 6 強

縮尺:1/13,000　0　500m

木津川市
南海トラフ地震 揺れやすさマップ
木津地区

地図記号　凡例

指定緊急避難場所	公立病院
指定避難所	警戒すべき区域内の要配慮者関連施設
車中(泊)避難場所	ヘリ発着可能箇所
福祉避難所	浸水の恐れがあるアンダーパス
地域避難所	

浸水深　凡例

～0.2m未満	～3.0m未満
～0.5m未満	～5.0m未満
～1.0m未満	5.0m以上
～2.0m未満	

※ため池が満水時に、地震・大雨により決壊した場合の浸水想定範囲および浸水深さを示しています。

縮尺:1/13,000　0　500m

木津川市
農業用ため池 氾濫想定区域図
木津地区

地震発生直後　大きな地震が発生すると、堤防で亀裂や地滑りが発生したり、地盤の液状化現象が起きるため、堤防決壊の危険性が高くなります。

大雨が長く続いた時　ため池の洪水吐(許容量を超えた貯水を放水する施設)の能力には限界があり、ゲリラ豪雨などの局地的な大雨が長く続いた場合、ため池の水位が上昇し、堤防を乗り越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊につながる危険性があります。

令和7年3月発行　この地図は、木津川市長の承認を得て木津川市所有の都市計画情報GISデータを使用して、調製したものです。(承認文書番号　令和3年12月14日「3木都第261号」)
(禁無断複製)© 2026 ZENRIN CO., LTD.